

長野市郊外の新興住宅地に佇むA邸。他の家にはない色や素材を取り入れたかった」という言葉通り、二部レンガ張りの外壁とオレンジ色の屋根が独特の存在感を放つ。

新築プランは設計士でもある奥さまが担当。施工は以前勤めていた宮田工業に託した。地震や寒さから家族を守る堅牢な造りと高気密・高断熱の暖かさ、輸入住宅ならではのデザイン性、施主の気持ちに寄り添う付き合い方など、同社の姿勢と魅力を知り、だからこそ、「迷わず歩みを進められましたね」と話す。

設計士として積み重ねてきた経験と知識を生かしつつ、今度は「住まいの立場に立って「自分たちはどんな家に住みたいのか？」と改めて問い直した」という奥さま。「何十年もの長い年月を家族と共に過ごす大切な場所。機能面もデザイン性も欲張りに、できる限り一番気に入ったものを選びました」と振り返る。中でも重視したのは、家事と子育てがしやすい回遊式の間取りとご主人が希望したロフト。ご主人も任せておきにはせず、ふたりに意見を合ったり、現場に足を運んで細かな要望を直接伝えたりと、積極的に参加して完成を迎えた。

「アパート暮らしの頃では想像できないほど、家中が明るく暖かく居心地がいい。どこを取っても完璧です」とご主人。その穏やかで誇らしい笑顔に、満足の高さがかがえた。



個性的な外観は決して目立つためではなく、家族が愛着を持てるオンリーワンを目指した結果。導入した太陽光発電と家そのものの性能のおかげで、快適ながらも光熱費は抑えられている

「アパートでは“日常”を充実させる余裕がなかった」とご主人。新居では暮らしを彩るさまざまな要素を楽しんでいる

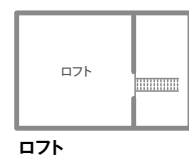


天然材特有の温もりが感じられる玄関ドアは国産部材。「輸入住宅＝国産品NGというわけじゃない。大事なのは日本の気候風土に合ったアイテムを賢く選ぶこと」と同社の高橋さん

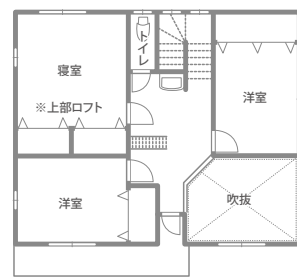
ご主人念願のロフトは使い方を決めず、その時々に応じてフレキシブルに楽しむ予定。共有の2階ホールからアプローチできる使い勝手の良さもポイント。天窓からの光と風が、ロフトとは思えない明るさと居心地の良さを生む



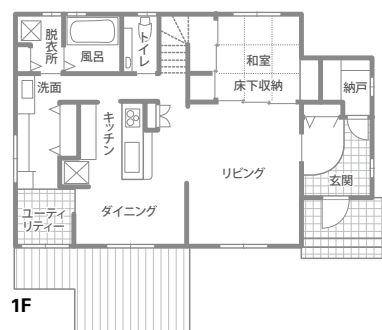
お天気に恵まれた日は、ウッドデッキでランチを楽んだりDIYに挑戦。暮らし方にも嬉しい変化が現れた。芝生が根付き始めた庭は、「嬉しい空間になるよう、楽しみながら手を加える予定」とご主人



ロフト



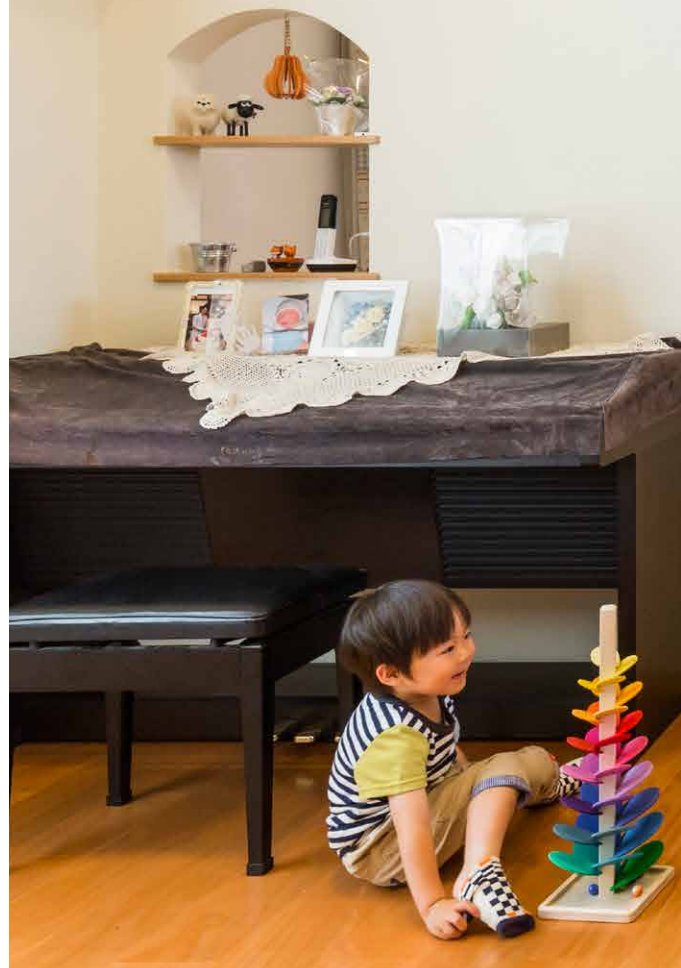
2F



1F



最上部はロフトの天井にまでつながり、開放感を重視したリビング。完全に仕切らず一体感を持たせたダイニングキッチンとのつながりは、子育て世代に最適だ。ガスを使った床暖房が、足下からしっかり暖めてくれる

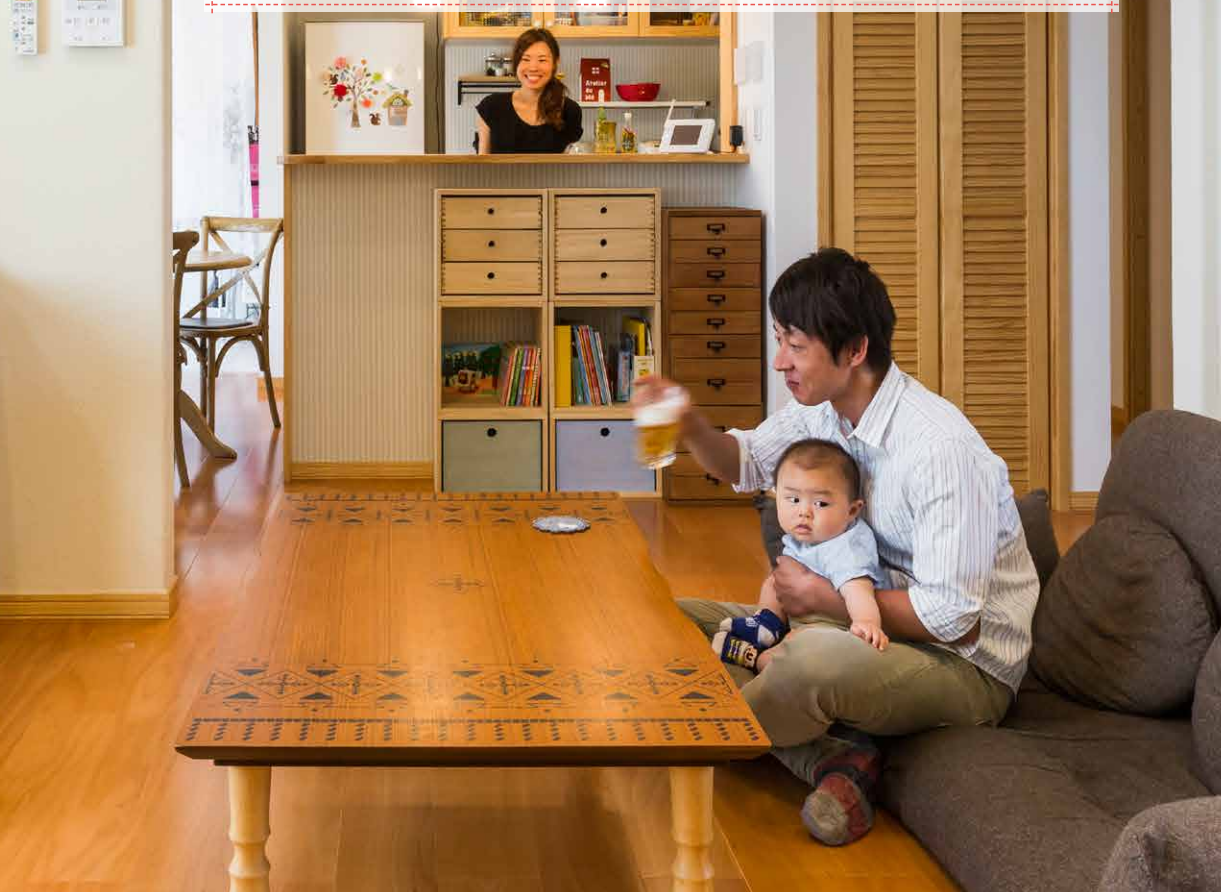


## 住宅実例

### 子育て世代の“今”にフィットする、機能性とデザイン美を見事に実現。

光と風を味方に付けた明るく穏やかな空間に、家事と子育てをサポートしてくれる便利で使い勝手のよい回遊式の間取り。経験豊かな設計士であり住まい手でもある、奥さまが手掛けた住まい。

長野市/A邸 家族構成/夫婦2人+子ども2人



●の無垢材を用いたキッチン。「今回は自分の住まいということで、思い切って採用しました!」と奥さま。白木の上品な風合いがキッチンをランクアップ



キッチン裏手はクローゼットとオープン棚の広い収納スペース。ウッドデッキとつながる南面は物干しに使う土間式のユーティリティで、干したらすぐにしまる動線が便利



リビングの続き間として設けた和室は、アジアテイストのインテリアで違和感なく馴染むように。収納スペースの確保を兼ねて一段高く設けたため、リビングダイニングと一体感ある大空間にも、プライベート感のある個室にも演出は自在